

立命館大学アート・リサーチセンター  
 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点  
 「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」  
 2019 年度 国際共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2020 年 4 月 24 日 提出

1. 研究課題名	
法政大学図書館所蔵の正岡子規文庫資料のデジタル化およびアーカイブ上での公開 (英文課題名: Digitization of "The Masaoka Shiki Collection" belong to Hosei University Library and publication on archive )	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
中丸 宣明(なかまる のぶあき)	法政大学文学部日本文学科・教授
3. 研究分担者 (合計: 4 名)	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
遠藤星希(えんどうせいき)	法政大学文学部日本文学科・准教授
加藤国安(かとうくにやす)	二松学舎大学東アジア学術総合研究所・ 特命教授
小林ふみ子(こばやしふみこ)	法政大学文学部日本文学科・教授
竹田美喜(たけだみき)	松山市立子規記念博物館・館長

4. 研究課題の概要(300 字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点が分かるように明記してください)
<p>法政大学図書館の所蔵の貴重書「正岡子規文庫」のうち資料価値の高いものを撮影・デジタルデータ化し、「法政大学図書館デジタルアーカイブ」上で公開する。「正岡子規文庫」は、俳人正岡子規の旧蔵書のうち和漢籍や自筆ノート等約 2100 点からなり、1949 年に法政大学へ寄贈されたものである。</p> <p>これまで図書館の事業として、すでにデジタルアーカイブサイト構築に取り組んでおり、現在貴重資料である「正岡子規文庫」「梅謙次郎文書」計 444 点約 27,800 カットが公開中である。</p> <p>2019 年度においては、正岡子規文庫資料のうち、俳諧・漢籍資料に限らず広く資料価値の高いものを当該共同研究において精査し、約 7,000 カット(※)をデジタルデータ化し、アーカイブに追加・公開し、正岡子規研究の更なる発展に寄与する。</p> <p>(※申請時には約 6,000 カットのデジタルデータ化を想定していたが、当初の予定より多くの資料を撮影することが出来た)</p>
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)
<p>2019 年度は 128 点、約 7,000 カットをデジタル化し、アーカイブ上で公開を行った。</p> <p>過年度より重点的にデジタル化を進めてきた俳諧資料は、2019 年度は 98 点を新たに公開し、さらに内容を充実させることが出来た。正岡子規文庫の俳諧資料は 511 点あるが、そのうち 361 点がアーカイブ上にデジタル公開されている。</p> <p>また、これまで撮影してきた俳諧資料に加え、錦絵などの絵画や、正岡子規の書き込みが含まれる資料などを公開し、バラエティに富んだ資料をアーカイブ上に公開することが出来た。</p>

## 6. 研究業績 (日本語以外に英語名称もあるものは、できるだけ日英両言語でご記入ください)

## (1) 著書

- ・加藤国安『大原観山詩集 子規の外祖父・藩校生の日々』、2020年3月、二松学舎大学/研文出版
- ・加藤国安『伊豫松山藩儒 大原観山旧蔵本・古文書総覧』、2020年3月、二松学舎大学

## (2) 論文

- ・竹田美喜「明治二十八年の子規と漱石—愚陀佛庵の五十二日—(その一)」、単著、2019年4月1日発行、現代俳句協会発行、『現代俳句 4月号』・通巻632号・12頁
- ・竹田美喜「明治二十八年の子規と漱石—愚陀佛庵の五十二日—(その二)」、単著、2019年5月1日発行、現代俳句協会発行、『現代俳句 5月号』・通巻633号・11頁
- ・竹田美喜「新元号『令和』と旅人『梅花三十二首』序と子規」、単著、2019年6月5日発行、松山市立子規記念博物館友の会発行、『季刊 子規博便り VOL-38-1』・通巻145号 2頁
- ・竹田美喜「新元号『令和』と旅人と子規」、単著、2019年8月31日発行、坂の上の雲ミュージアム発行、『坂の上の雲ミュージアム通信 小日本 2019年夏号』・第37号・3頁
- ・竹田美喜「記念講演 子規と漱石の52日—新しい文学の夜明け—」、単著、2019年12月25日発行、公益社団法人日本教育会発行、『第44回全国教育大会愛媛大会報告書』・4頁
- ・竹田美喜「子規と連句—愚陀佛庵で連句—」、単著、2020年3月1日発行、松山連句教会発行、『いで湯の香里』・第5号・5頁
- ・竹田美喜「子規の屈辱—初めて連俳を論じた時—」、単著、2020年3月25日発行、松山市立子規記念博物館友の会発行、『季刊 子規博便り VOL-38-3』・通巻147号・4頁

## (3) 研究発表等

- ・竹田美喜「俳句・書文化研究センター設置の意義—学生俳句の伝統」、2019年5月、愛媛大学文系研究センター設置記念式典 大和屋本館
- ・竹田美喜「子規と連句—愚陀佛庵で連句に挑戦」、2019年5月、令和元年度ふるさと風早講座、北条ふるさと館
- ・竹田美喜「子規と妹・律—子規の偉業を支えた律—」、2019年5月、平成31年度愛媛大学医学部第二内科 同窓会総会特別講演、ANAクラウンプラザホテル
- ・竹田美喜「明治28年、愚陀佛庵の子規」、2019年5月、2019年度愛媛県読書グループ連絡協議会講演、にぎたつ会館
- ・竹田美喜「子規と眞之の友情—眞之、オスマントルコへ行く」、2019年9月、2019年度糸瓜忌記念講演、松山市立子規記念博物館
- ・竹田美喜「子規と漱石の52日—新しい文学の夜明け—」、2019年10月、2019年度第44回全国教育大会愛媛大会記念講演、松山市総合コミュニティセンター
- ・竹田美喜「『俳諧大要』に見る子規の俳句観—俳句は美なり—」、2019年11月、令和元年度愛媛県総合文化祭俳句大会記念講演、松山市立子規記念博物館
- ・竹田美喜「漱石と古白と松風会—松山行きを促したもの—」、2019年12月、第213回松山会坊っちゃん会(冬季)例会、松山市立子規記念博物館
- ・竹田美喜「子規の最期—糸瓜の水も間にあはず—」、2020年2月、令和元年度交流展、岡山・愛媛文化交流事業Ⅱ「正岡子規と仲間たち」、岡山県立博物館

## 【館長特別講話】

- ・竹田美喜「子規と『畏友』漱石」、2019年5月、2019年度三重中学校修学旅行生、松山市立子規記念博物館
- ・竹田美喜「子規と『畏友』漱石」、2019年5月、2019年度咲くやこの花中学校修学旅行生、松山市立子規記念博物館
- ・竹田美喜「新元号『令和』と大伴旅人と子規」、2019年5月、2019年度松山市公民館長研修会、松山市立子規記念博物館
- ・竹田美喜「新元号『令和』と大伴旅人と子規」、2019年6月、2019年度北条公民館研修会、北条公民館
- ・竹田美喜「新元号『令和』と大伴旅人と子規」、2019年8月、2019年度由良公民館研修会、由良公民館
- ・竹田美喜「子規さんと番町小学校」、2019年10月、2019年度番町小学校出前教室、松山市立番町小学校
- ・竹田美喜「子規と漱石の友情」、2019年10月、2019年度杉戸高等学校修学旅行生研修
- ・竹田美喜「新元号『令和』と大伴旅人と子規」、2019年11月、2019年度番町地区文化祭

## 【子規入門講座】

- ・竹田美喜「新元号『令和』と旅人と子規と」、2019年4月、2019年度子規入門講座4月、松山市立子規記念博物館
- ・竹田美喜「子規と妹・律」、2019年5月、2019年度子規入門講座5月、松山市立子規記念博物館
- ・竹田美喜「子規と眞之の友情—眞之、オスマントルコへ行く」、2019年6月、2019年度子規入門講座6月、松山市立子規記念博物館
- ・竹田美喜「子規と道後温泉」、2019年7月、2019年度子規入門講座7月、松山市立子規記念博物館
- ・竹田美喜「子規と草花—特別企画展に寄せて—」、2019年8月、2019年度子規入門講座8月、松山市立子規記念博物館
- ・竹田美喜「子規の最期—糸瓜の水も間にあはず—」、2019年9月、2019年度子規入門講座9月、松山市立子規記念博物館